

(別紙3)

地球温暖化対策計画実施状況報告書の概要(公表用)

1 事業者の概要

法人名 代表者名	共生食品株式会社 代表取締役 三澤孝治	市内の 主たる住所	相模原市緑区橋本台3-18-22
主たる事業 の内容	豆腐・油揚げ製造業、めん類製造業		

2 計画期間

令和7年度 ~ 令和9年度

3 報告対象年度

令和7年度

4 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況

基準年度 排出量	2800.0 t-CO ₂	報告対象年度 排出量	2837.0 t-CO ₂
排出削減量	-37.0 t-CO ₂	報告対象年度 排出削減率	-1.3 %
(原単位を設定した場合)報告対象年度原単位排出量削減率			%

5 報告対象年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

令和7年度の温室効果ガスの排出量は、基準年度の2800t-CO₂から2,837t-CO₂となり、結果として1.3%増加となりました。増加の要因としては、新製品の製造開始に伴う製造から出荷までの時間の延長や、製造設備の稼働時間の増加が挙げられます。

当初は、令和7年度から令和8年度にかけての本社工場および橋本工場の蛍光灯のLED化による温室効果ガス排出量削減を図る計画でしたが、蛍光灯の製造停止等に伴うLED照明設備の需要増加により、令和7年度中に着手することができませんでした。そのため、令和8年度に本社工場の蛍光灯をLED化し、温室効果ガス排出量削減を目指します。

6 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容

措置の内容
・製造現場の一部ラインでは非常に高温化での作業を強いられませんが、この環境改善にエアコン等で対処するとかなりのエネルギーを消費することになります。そのため当該ラインの従業員には、夏場、アイスベストや首に巻くタイプの保冷剤を着用してもらい対処しています。
・施設内のエアコン設定温度に関して、従業員が快適な業務を行える、健康的に体調を維持されることを考慮しつつ、夏場と冬場の温度設定を行い、暖め過ぎ、冷やし過ぎによる無駄なエネルギー消費を抑えています。
・人のいない部屋・スペースにおいての照明OFFを実践

7 その他地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

・商品の包材に再生プラスチックを使用しており、これが環境配慮型の商品であることを消費者に周知することで、より環境負荷の低い商品を選ぶことによるCO₂削減に貢献できるようにしています。

・豆腐の製造過程で出るおから(産業廃棄物)の処分について、以前は乾燥してから飼料化を行っていましたが、生おからを飼料化(県内の畜産業者に牛の餌として使用)することにより、乾燥の際の加熱工程を排除することができ、CO₂削減に寄与しています。

・本来廃棄となってしまう余剰品を地域(工場近隣)の方向けに安く販売して、食品ロスの削減に取り組んでいます。食品ロスを削減することで、廃棄に掛かるエネルギーの創出・燃焼によるCO₂排出量の削減に貢献できるように取り組んでいます。